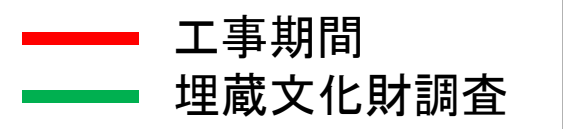


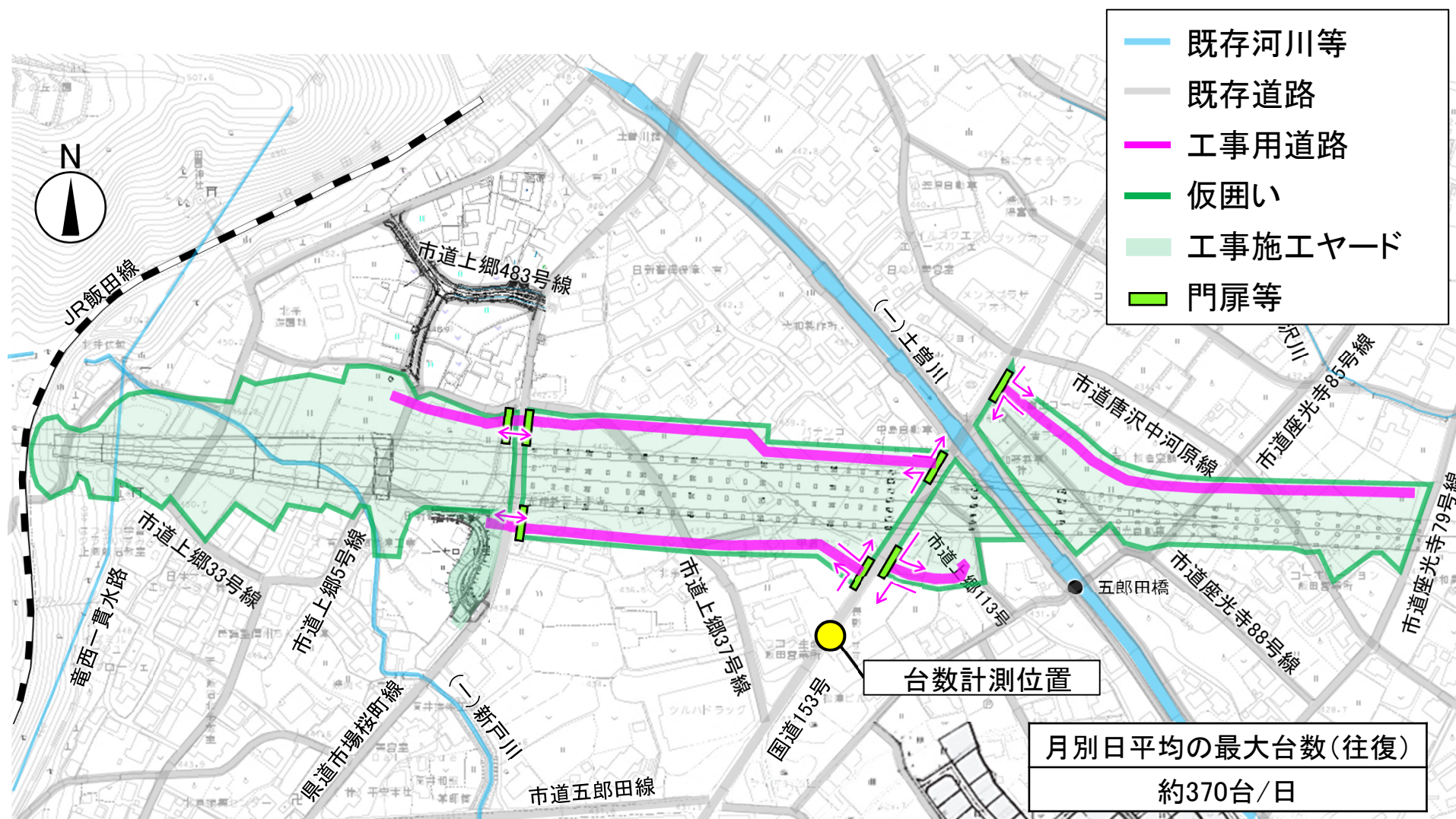
	2023 (令和5 年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)	2026 (令和8年度)	2027 (令和9年度)	2028 (令和10年度)	2029 (令和11年度)	2030 (令和12年度)	2031 (令和13年度)
高架橋区間 (駅東部)									
橋りょう区間 (土曽川橋りょう)									
高架橋区間 (駅中央部)									
土構造区間 (駅西部) ※新戸川付替え含む									



※工事工程については、今後の協議、埋蔵文化財調査、施工進捗等により変更となる場合があります。

運行計画

4.工事用車両の 運行計画・安全対策



※「月別日平均」とは、月延総台数を1月当たりの工事稼働日数で割り戻した数値です。
 ※1日あたりの最大運行台数は、コンクリート打設の日により約650台/日(往復)を想定しています。
 ※風越山トンネル(上郷)の本坑工事等に伴う車両台数は現在検討中のため、含まれておりません。
 ※工事用車両の運行ルートは、今後の協議等により変更する場合があります。

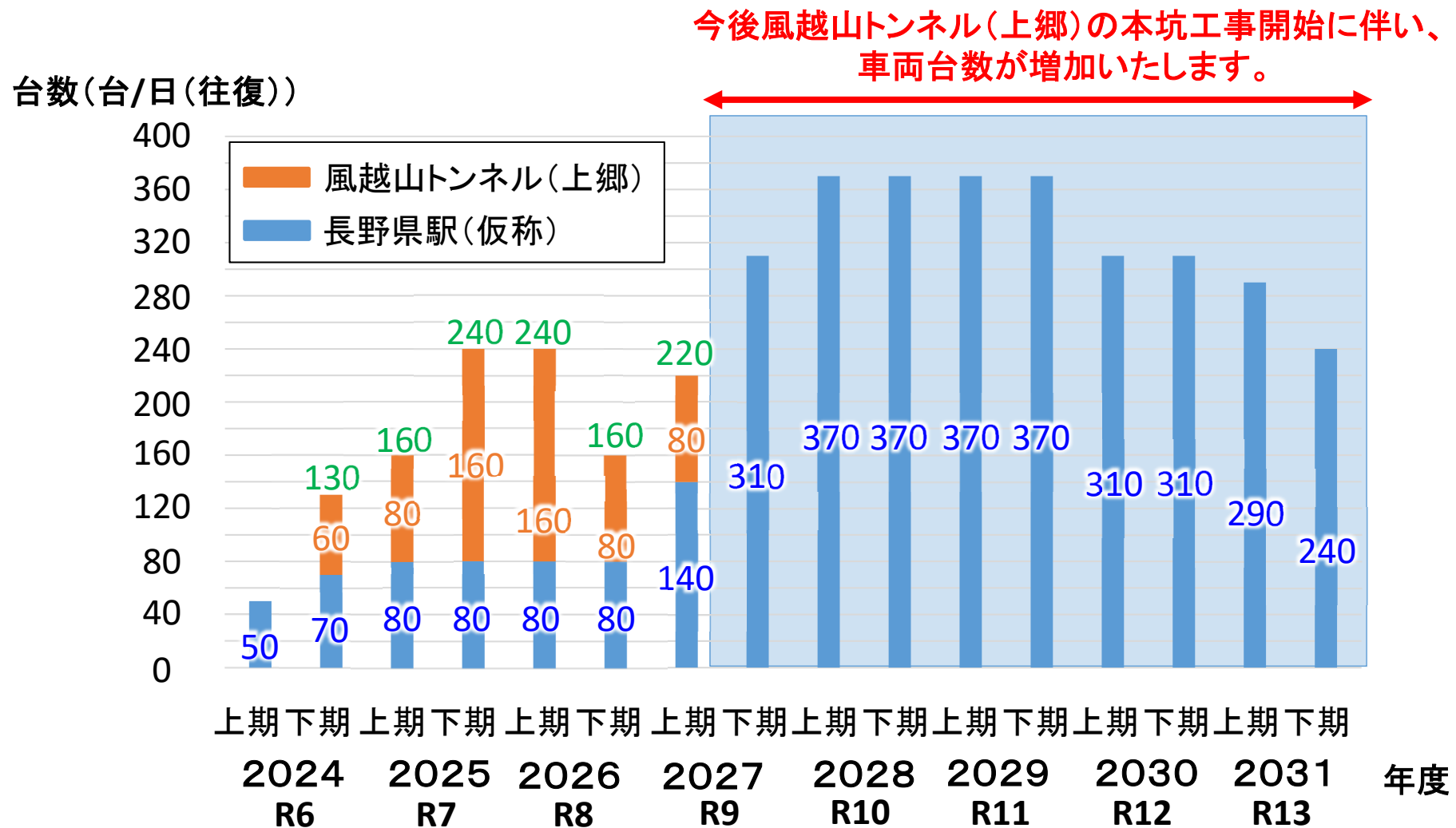
運行計画

■国道153号の交通渋滞を抑制する運行計画



※コンクリート打設の日や工事で使用する重機を特殊車両で運搬する日は、早朝や夜間に運行する場合があります。

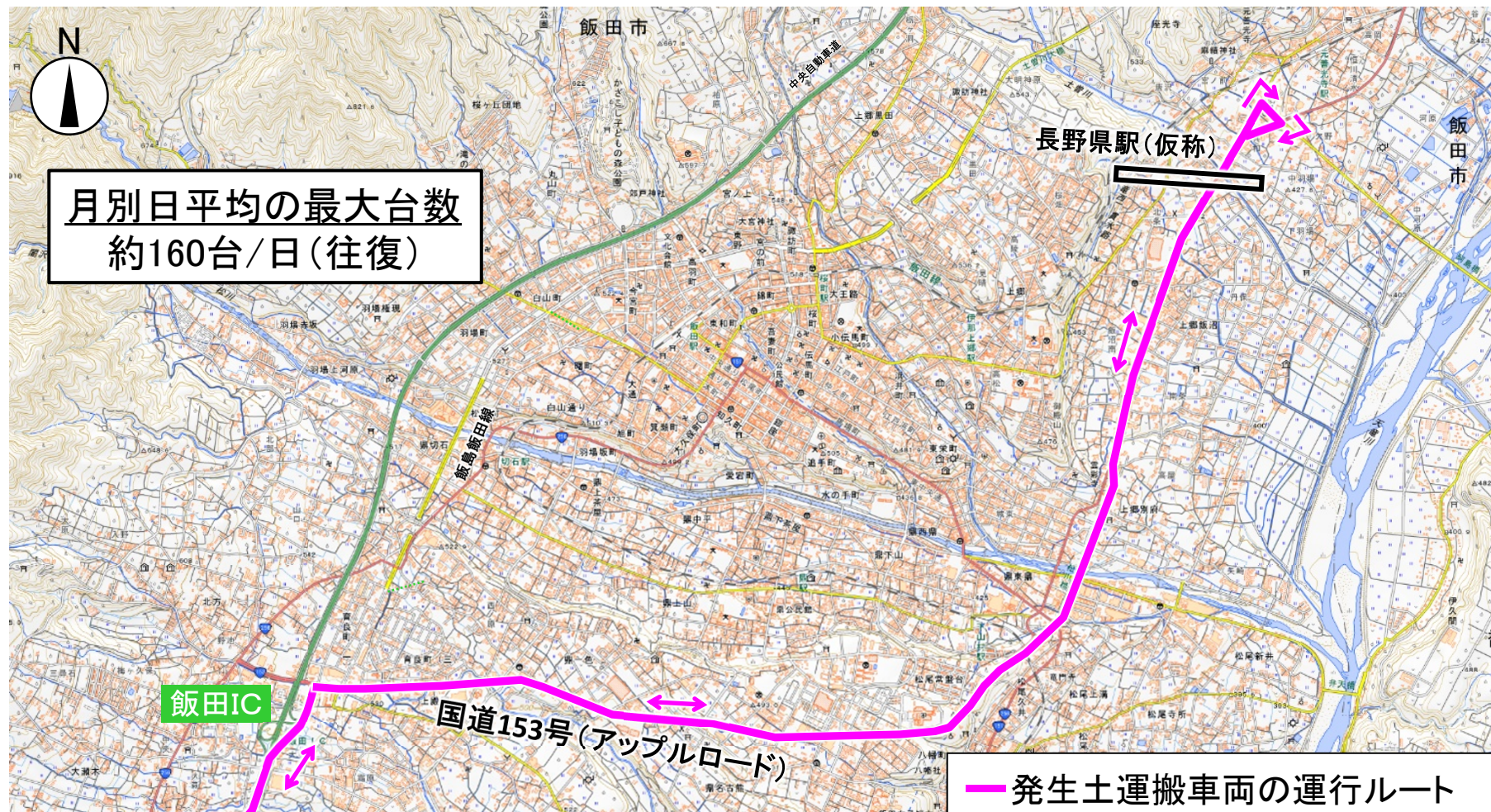
国道153号(台数計測位置)における工事用車両の半期毎の月別日平均の最大台数(往復)



※1日あたりの最大運行台数は、コンクリート打設の日に約650台/日(往復)を想定しています。
 ※計画上の台数であり、施工の進捗状況等により運行台数が増減となる場合があります。

発生土運搬計画

- ・長野県駅工区での掘削等に伴う発生土は、飯田インターから中央自動車道を利用し、飯田、下伊那の発生土活用先に運搬します。



※先行着手工事の発生土の一部は堰下ガイドウェイヤードへ運搬しております。

※現時点の計画であり、今後変更となる可能性があります。

地元の皆様に対する交通安全対策は、最優先課題として実施してまいります。

1. 作業員に対する交通安全教育の徹底

- ・制限速度の厳守、一般車両優先の徹底
- ・歩行者等への配慮、一旦停止の確実な履行

2. 安全対策

- ・安全看板の設置
- ・交通誘導員の配置
- ・運行管理システムの配備
- ・安全運転の徹底

3. 工事用車両の明示